

26.8.3 宮田

ニジマス釣り楽しい 高千穂小児童ら体験

山附川の特設釣り堀で、ニジマス釣りに挑戦する
高千穂小児童ら



だいたい約100人が参加。特設釣り堀にニジマス千匹が放流され、歓声とともに次々と釣り上げていた。

組合員の指導を受け、参加者は沿岸からや、膝下まで水に漬かり釣り糸を垂れた。さおに手応えがあると引き寄せ、水面から魚が姿を現すと驚いたり、満面に笑みを浮かべたりしていた。最後は釣り残したニジマスのつかみ捕りがあり、盛り上がった。

10匹の釣果だった4年田邊楓来君(9)は「針から外す時に2匹逃がしたことが残念だったが、餌を付けて釣れた瞬間が楽しかった」と話していた。

教室は、児童や保護者が川の環境保全に関心を持ち、理解してもらうことが目的。例年西臼杵郡の小学校対象に開き、今回で10回目を迎えた。

西臼杵漁業協同組合(大鶴良夫組合長)の釣り教室は7月27日、高千穂町押方の山附

川であった。高千穂小(米良照彦校長、347人)の3、4年と、その保護者やきょう